

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小

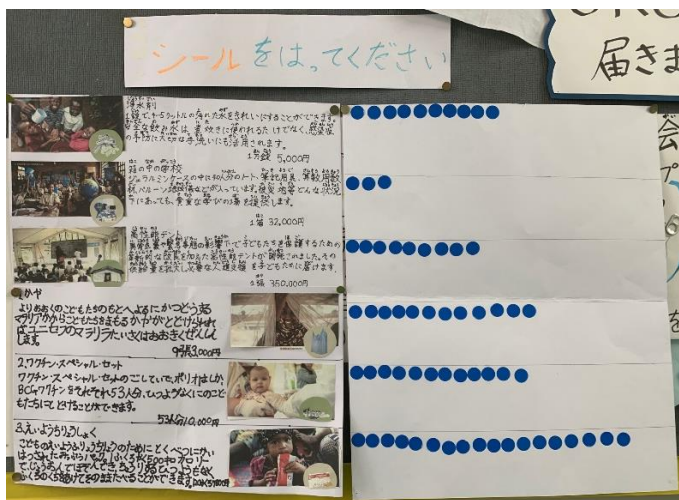


↑こちらからも↑

令和5年10月31日(火) 発行人：校長 森内 秀学

赤十字の精神、宿っています！

時津小学校は、大正15年10月20日に設立された「時津青少年赤十字団」に端を発し、実に97年もの間、赤十字活動に取り組んでいます。子どもたちは「JRC活動」という言い方が、なじみがあるでしょう。赤十字活動の精神は、「気づき、考え、実行する」。早速、委員会活動の一つとして、その精神が生かされた取組が始まろうとしています。



左写真の左半分は、1階渡り廊下に掲示されている、世界の様々な問題と、その解決方法です。字が小さいので、「問題」(解決するための物品)費用【内訳】という表し方で、順にご紹介しましょう。

- ①「水」(浄水剤) 5,000円【1万錠】
- ②「勉強」(文房具) 32,000円【40人分セット】
- ③「家」(テント) 350,000円【1張】
- ④「マラリア」(蚊帳) 3,000円【9張】
- ⑤「病気予防」(ワクチン) 10,000円【53人分】
- ⑥「栄養」(栄養治療食) 7,800円【120袋】

写真の右側をご覧ください。丸いシールが並べて貼ってありますね。実はこれ、これから集める募金をどの問題解決に使うのか、シールでアンケートを採っているのです。この、自分たちで決めようとする姿勢が素晴らしいと思いませんか。言われたからお金を持って来て募金箱に入れるのではなく、現状と目的を知り、自分で判断し、お金を持ってくる…。これはまさに、気づき、考え、行動する、赤十字の精神そのものだと思います。

自分で選んだり、自分で決めたりすると、関心も意欲も長続きすることが、様々な研究で明らかになっています。お子様がどれに関心を抱き、どこにシールを貼ったのか、ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

3・4年版カナリーステージイン開催

10月25日は、カナリーステージインでした。演奏は、「アーマンプラス」というアンサンブルグループ。素敵な曲の演奏はもちろん、ホースを使って楽器の音が鳴る仕組みを教えてくれたり、指揮者の役割や楽しさを味わわせてくれたりしました。ちなみに時津小の指揮者代表は、3年1組橋本葵翔さん。ゆっくり上手にできました。

